

報告事項 2025 度(第 10 期)

事業報告書

2025年 4月 1日 から
2026年 3月31日 まで

株式会社銚子スポーツタウン

事業報告書

2025 年 4 月 1 日から

2026 年 3 月 31 日まで

I. 営業の概況

1. 銚子スポーツタウン関連施設の整備状況、営業の経過並びに成果及び今後の課題

(1) 銚子スポーツタウン関連施設の整備状況

ピーク時における宿泊需要への対応および受入体制強化を図るため、40名規模の宿泊棟を増設いたしました。

また、競技環境の向上を目的として、くろしおかもめ球場内野へナイター照明を増設するとともに、両球場内野において黒土補填および排水性改善工事を実施いたしました。

さらに、利用者の快適性向上のため、浴槽昇温工事を実施したほか、室内練習場の照明をLED化し、省エネルギー化と照度向上を図りました。

(2) 営業の経過及び成果状況

当事業年度における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、人流や観光需要、スポーツ・教育関連活動も回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇やエネルギー価格の高騰、人件費上昇など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「スポーツを通じた地域活性化」を基本方針として、スポーツ合宿、大会、研修、教育旅行等の受入強化に努めるとともに、施設環境の整備とサービス向上に取り組んでまいりました。

施設整備では、ピーク時の宿泊需要に対応するため40人規模の宿泊棟を増設し、くろしおかもめ球場内野へのナイター照明設置、両球場内野の黒土補填及び水捌け改善工事、浴槽昇温工事、室内練習場照明のLED化などを実施し、利用環境の向上を図りました。

営業面では、野球を中心としたスポーツ合宿利用が好調に推移し、夏季を中心に高い稼働率を維持いたしました。また、銚子黒潮野球塾や各種スポーツイベント、企業研修等の開催により施設認知度が向上し、リピーター利用や新規団体利用の拡大につながりました。

その結果、宿泊者数は11,031人となり、開業以来最高を更新いたしました。売上高は148,486千円となり、前期比21.7%増加いたしました。営業利益は17,731千円、経常利益は11,524千円となり、開業以来初めて本業における安定的な黒字化を達成することができました。

一方で、燃料費や食材費、人件費等の上昇に加え、施設老朽化に伴う修繕費の増加など、今後の課題も見えてきております。当社といたしましては、引き続き施設価値の向上とサービス品質の充実を図り、スポーツ合宿拠点としてのブランド力向上と地域活性化に取り組んでまいります。

ア. 売上状況

宿泊収入	¥76,163,340－
食事収入	¥50,406,086－
施設利用収入	¥18,220,770－
売店収入	¥463,860－
キャンセル料	¥3,168,300－
書籍売上	¥63,855－
合計	¥148,486,211－

イ. 営業成績及び財産の状況の推移

単位円

区分	第 8 期 2023 年 4 月 ～2024 年 3 月	第 9 期 2024 年 4 月 ～2025 年 3 月	第 10 期 2025 年 4 月 ～2026 年 3 月
総売上高	116,372,657	121,983,018	148,486,211
経常利益・経常損出	－3,699,723	190,443	11,524,242
特別損益	618,096	34,861	408,952
税引前純利益・純損失	－3,081,627	225,304	11,933,194
当期純利益・純損失	－3,161,627	145,304	11,853,194
1 株当たりの 当期純利益・純損失	－31,616円27銭	1,453円04銭	118,531円94銭
総資産	191,404,523	237,439,631	241,736,096
純資産	－146,051,818	－145,906,514	－134,053,320

(3) 今後会社に対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境は、スポーツ・観光需要の回復により改善傾向にある一方で、物価上昇、人件費増加、エネルギー価格高騰など、依然として厳しい状況が続いております。また、少子化による競技人口減少や地域間競争の激化など、中長期的な課題も存在しております。

このような状況の中、当社は「スポーツを通じた地域活性化拠点」として持続的成長を実現するため、以下の課題に重点的に取り組んでまいります。

第一に、宿泊稼働率の向上であります。夏季を中心に高い稼働率を確保できている一方、平日や冬季には稼働に改善余地があるため、スポーツ合宿に加え、教育旅行、地域イベント等の受入強化を図り、年間を通じた安定稼働を目指してまいります。

第二に、施設環境の維持・向上であります。開業から年数が経過し、設備の老朽化に伴う修繕や更新需要が増加しております。安全性・快適性を維持するため、計画的な修繕及び設備更新を進めるとともに、利用者ニーズに対応した施設整備を継続してまいります。

第三に、人材確保と育成であります。宿泊・飲食・施設管理を支える人材の確保が重要課題となっております。働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、接遇力や運営力向上に向けた人材育成に取り組み、サービス品質向上を図ってまいります。

第四に、地域連携及びブランド力向上であります。スポーツ団体、学校、自治体、企業等との連携を深めることで、銚子スポーツタウンの認知度向上と利用拡大を図り、「スポーツ合宿のまち銚子」の実現に貢献してまいります。

当社は今後も、地域資源を活用したスポーツ振興と地域経済活性化に取り組み、安定した経営基盤の確立と企業価値向上に努めてまいります。

II. 会社の状況

1. 主要な事業内容

- ① 宿泊施設及びスポーツ施設の経営
- ② スポーツイベントの企画、運営、管理及び実施
- ③ スポーツ教室の経営
- ④ スポーツ及び健康商品の開発、販売及びレンタル
- ⑤ 観光案内に関する業務
- ⑥ 観光用土産品の販売業務
- ⑦ 一般旅行業、国内旅行業及び旅行代理店業
- ⑧ スポーツツーリズム推進による地域活性化に資する事業
- ⑨ 人材の教育訓練及び指導並びに学習教材の販売
- ⑩ 出版物、印刷物、書籍、学習教材及び文具の製造、販売及び輸入
- ⑪ 前各号に関連する一切の事業

2. 株式の状況

(1) 発行株式数及び株主数

発行する株式の総数	100 株
発行済みの株式総数	100 株
株主数	10 名

(2) 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数	議決権比率	所有株式数	議決権比率
銚子市	50 株	50.00%	0 株	0%
小倉和俊	37 株	37.00%	0 株	0%
高木康之	2 株	2.00%	0 株	0%
上総泰茂	2 株	2.00%	0 株	0%
谷口博則	2 株	2.00%	0 株	0%
大里忠弘	2 株	2.00%	0 株	0%
松本恭一	2 株	2.00%	0 株	0%
石毛伸一	1 株	1.00%	0 株	0%
澤田武男	1 株	1.00%	0 株	0%
高根由充	1 株	1.00%	0 株	0%

3. 従業員の状況

在籍従業員 10 名(うちパート 5 名)

4. 取締役及び監査役

2026 年 3 月 31 日

会社における地位及び担当又は主な職業		
代表取締役	小倉和俊	和光設備(株)代表取締役
代表取締役	大里忠弘	銚子通運(株)代表取締役
取締役	松本恭一	銚子倉庫(株)代表取締役
取締役	高根由充	(株)エクポージャーラボ代表取締役
監査役	谷口博則	(株)谷口鉄工所代表取締役

決 算 報 告 書

(第 10 期)

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

千葉県銚子市東芝町 1 番地の 7

事業報告書

第10期

株式会社銚子スポーツタウン

当期（自令和7年4月1日至令和8年3月31日）の会社事業の概要を下記のとおり報告いたします。

I 計算書類

貸借対照表	別紙の通り
損益計算書	同 上
株主資本等変動計算書	同 上

II 法律関係事項

1. 令和7年6月2日第9回定時株主総会を本店において開催し、下記のとおり決議いたしました。

第1号議案 第9期事業報告書の内容報告の件、並びに貸借対照表、
損益計算書及び株主資本等変動計算書承認の件
(原案通り承認可決)

第2号議案 第10期事業計画及び予算案承認の件

III 株式

当期末の株式の状況は下記のとおりであります。

(1) 発行可能株式総数	1,000株
(2) 発行済株式の総数	100株
(3) 資本金の額	5,000,000円
(4) 株主数	10名

IV 役員

当期末における役員は下記のとおりであります。

代表取締役	小倉和俊
代表取締役	大里忠弘
取締役	松本恭一
取締役	高根由充
監査役	谷口博則

V 期末後の報告事項

令和8年5月29日第10回定時株主総会を開催し、計算書類が承認可決されました。

貸借対照表

令和 8年 3月31日 現在

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	27,409,488	【流動負債】	73,152,913
現 金	911,769	買 掛 金	2,005,761
預 金	14,703,327	短 期 借 入 金	59,096,650
売 店 商 品	29,074	未 払 金	3,528,224
原 材 料	412,030	未 払 費 用	5,475,932
貯 蔵 品	46,420	前 受 金	1,277,235
未 収 入 金	9,020,801	預 り 金	182,211
短 期 貸 付 金	2,090,000	未 払 消 費 税 等	1,506,900
前 払 費 用	196,067	未 払 法 人 税 等	80,000
【固定資産】	213,454,005	【固定負債】	302,636,503
【有形固定資産】	209,827,131	長 期 借 入 金	288,738,003
建 物	123,910,654	長 期 未 払 金	13,898,500
建 物 附 属 設 備	48,798,539	負 債 の 部 合 計	375,789,416
構 築 物	31,528,403	純 資 産 の 部	
機 械 装 置	2,638,122	【株主資本】	-134,053,320
器 具 備 品	2,317,482	資 本 金	5,000,000
一 括 償 却 資 産	633,931	利 益 剰 余 金	-139,053,320
【無形固定資産】	3,414,624	そ の 他 利 益 剰 余 金	-139,053,320
借 地 権	3,299,790	繰 越 利 益 剰 余 金	-139,053,320
ソ フ ト ウ ェ ア	114,834	(うち当期純利益金額)	11,853,194
【投資その他の資産】	212,250		
出 資 金	40,000		
保 証 金	20,000		
長 期 前 払 費 用	74,250		
敷 金	78,000		
【繰延資産】	872,603		
創 立 費	305,951		
開 業 費	566,652	純 資 産 の 部 合 計	-134,053,320
資 産 の 部 合 計	241,736,096	負 債 及 び 純 資 産 合 計	241,736,096

損 益 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
宿 泊 収 入	76,163,340	
食 事 収 入	50,406,086	
施 設 利 用 収 入	18,220,770	
売 店 収 入	463,860	
キ ャ ン セ ル 料	3,168,300	
書 籍 売 上	63,855	
売 上 高 合 計		148,486,211
売 上 総 利 益 金 額		148,486,211
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		130,755,176
営 業 利 益 金 額		17,731,035
【営業外収益】		
受 取 利 息	51,175	
受 取 配 当 金	400	
雑 収 入	943,810	
営 業 外 収 益 合 計		995,385
【営業外費用】		
支 払 利 息	6,922,579	
保 証 料	279,599	
営 業 外 費 用 合 計		7,202,178
経 常 利 益 金 額		11,524,242
【特別利益】		
受 取 保 険 金	405,300	
法 人 税 等 還 付 金	3,652	
特 別 利 益 合 計		408,952
税引前当期純利益金額		11,933,194
法 人 税 等		80,000
当 期 純 利 益 金 額		11,853,194

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

科 目				金 額	
給	料	手	当	41,768,649	
法	定	福	利 費	4,391,416	
福	利	厚	生 費	357,294	
退	職	共	済 掛 金	174,000	
食		材	費	17,491,000	
外		注	費	4,684,106	
広	告	宣	伝 費	845,226	
旅	費	交	通 費	1,735,175	
車	輜	燃	料 費	188,721	
通		信	費	1,121,726	
水	道	光	熱 費	8,425,344	
消	耗	品	費	7,772,239	
修		繕	費	4,765,548	
保		險	料	1,943,035	
事		務	費	406,307	
租	税	公	課	5,935,764	
交	際	接	待 費	494,943	
地	代	家	賃	690,650	
賃		借	料	80,950	
減	価	償	却 費	16,932,893	
リ	一	ス	料	900,244	
支	払	手	数 料	8,647,887	
諸		会	費	244,200	
定	期	保	守 料	621,330	
雑			費	136,529	
販売費及び一般管理費合計					130,755,176

株主資本等変動計算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

【株主資本】

資	本	金	当期首残高	5,000,000
			当期末残高	5,000,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金	当期首残高	-150,906,514
	当期変動額 当期純利益金額	11,853,194
	当期末残高	-139,053,320

利益剰余金合計

当期首残高	-150,906,514
当期変動額	11,853,194
当期末残高	-139,053,320

株主資本合計

当期首残高	-145,906,514
当期変動額	11,853,194
当期末残高	-134,053,320

純資産の部合計

当期首残高	-145,906,514
当期変動額	11,853,194
当期末残高	-134,053,320

注 記 表

株式会社 銚子スポーツタウン

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価方法 … 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

平成28年4月1日以降に取得した建物、建物附属設備、構築物 … 定額法

リース資産 … リース期間定額法

上記以外の資産 … 定率法

無形固定資産

定額法

(3) 消費税等の会計処理

税込経理方式

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 100株

一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額 -1,340,533 円 20 銭

一株当たり当期純利益金額 118,531 円 94 銭

監 査 報 告 書

私は、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの
第 8 期営業年度の事業報告書、貸借対照表、損益計算書、株主資本
等変動計算書及び個別注記表を監査しました結果、適法かつ適正で
あることを認めます。

2026 年 5 月 21 日

株式会社銚子スポーツタウン

監査役 谷 口 博 則